高機能自閉症児を育てる

息子・Tの自立を育てた20年の記録

（小学館101新書）

高橋和子著
定価777（本体740）円
2010年6月1日発売
コード4-09-825079-0

３歳８か月で話し始めた息子が京大生になるまで

T君（1986年生まれ）は、２歳８か月で自閉症と診断されます。母の和子さんは、T君と全力で向き合いながら、特殊教育の専門家になりました。「このままでは３歳になっても話せるようにならない」と言われたT君は、現在京都大学大学院博士前期課程在学中です。

T君誕生から京都大学進学までの出来事と、高橋さんが実際にT君に行ってきたさまざまな支援を豊富に収録。「母として生きる」覚悟をもった日々の告白には、圧倒されつつも、感動を禁じ得ません。具体的な実践は、問題を抱えたお子さんを育てているご家庭ですぐにヒントになることばかりです。ご家庭で無理をせず、生活を基本にしながら親子ともに楽しみながら子どもの成長を育むことと、学歴ではなく社会で生きていく力を育てることを大切にしています。

そして、この本の大きなもうひとつの魅力は、子ども本来の力をいかに上手に育てていけるか、という視点で読むことができる点です。定型発達の子育てにも大変参考になります。

高橋和子（たかはし・かずこ）1958年大阪府生まれ。金沢大学子どものこころの発達研究センター特任助教。コミュニケーション支援方法の開発と普及部門で研究に携わる。言語聴覚士、臨床発達心理士、特別支援教育士ＳＶの資格を持つ。97年に立ち上げた「アルクラブ」（日本自閉症協会大阪府支部・高機能部・高機能クラブ）統括ディレクターなど、母親としての立場から、現在の福祉・教育のシステムでは援助対象になりにくい高機能自閉症児・者の援助を可能にするための活動にも取り組んでいる。